

せ ん

ぼ 通信 No.24

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「命」

スタンプ会の旅行会で、筑波海軍航空隊記念館・茨城近代美術館・那珂湊回転すし食べ放題へ。すしネタは、新鮮で…大きくてびっくり魚貝類のお買い物も、お客さまに好評でした。出っ張ったお腹に手をあてながら…平和ってありがたいなあ…。

筑波海軍航空隊記念館は…「神雷特攻隊」の実行が、最初に決定された悲劇の始まりの地。地下には、指揮所・治療所・防空壕などが現存していて、国内最大規模の戦争遺構。現在は老朽化のため、取り壊しが決定しているが、見学者があり、保存するか議論中…だそうです。グランド跡地の草の上を歩きながら同じ空の下…時代によって、流す汗の違いを思いました。戦争を始めるのは…エライお爺さまたち…。戦場に行かされるのは…若い息子や孫たち…。

どの人たちにも…愛しい人がいました。

どの人たちにも…悲しんだ人がいました。

日本画家・堀文子さんのおことば～

「戦争は、人の命を使ってやるもの…。

戦後、女性とマスコミがしっかりしていれば大丈夫、と思っていたけれど…今は…？」

ことしも、機械で草を刈っている。腰が曲がってしんどそう…。

「ただいても、しょうがねえからやる。ンだけど…去年よりやっぱこえない」 そりゃそうだよ…私だって疲れやすいもん…。

一人暮らしになっても、しっかり自立して、がんばっているお客さま。少しのおしゃべりから感じるのは

「誰にも迷惑はかけたくない」お年寄りの一人暮らしは、どこでも増えているけど、子ども達の誘いをことわっている人も多い…。

「わが家がいちばん」と言いながら、子ども達への負担を、思いやる心がじんわり…つたわってくる。

戦争を生き抜いてきた、先輩のみなさんの芯は…強いなあ…。

刈っても刈っても…伸びてくる…夏草のような…強さかな…。

ことしの夏のひとコマ…

ここに置いたはずなのにな。孫の大切な物なのにな。息子にメールしたら…「処分した」と。 えー。

孫の顔はショックをうけながらも…こぼれそうな涙をがまんしている。かわいそうで…かわいそうで…私からでたのは、まったくもう…あのパパのデレスケが…トリプルデレスケ…ってメールしてよ…。

時間がたって…気を取りなおした9歳の孫からでたのは、「オレは、パパが好きだから…ダメなことをしても…ヘンなことをしても…オレは、パパが好きだから…」うーん…参りました… 天と地のちがい… そうだね…好きだったら…許せるんだよね。



五輪じゃないけど…自己ベスト 撮影・繭子